

ふなゆの



七月

- 24日 愛宕地蔵祭
- 25日 長安寺
- 25日 天神宮（上谷鍛冶屋坂）
- 25日 太宰府天神天満宮祭
- 25日 永寿院
- 29日 ※十日市場木タルまつり
- 29日 十日市場自治会
- 8月1日 石船神社祭
- 8月1日 石船神社
- 22日・23日 都留市体育祭
- 22日 住吉球場他
- 23日 奉納相撲
- 23日 太宰府天神社（境）
- 7日 七夕
- 10日 市内各地
- 10日 四万六千日
- 15日 普門寺
- 15日 お天王さん（祇園祭）
- 15日 御獄神社（横町）

※ホテルの発生により変更することがありますので教育委員会にお問い合わせください。

（43）1111内線214

今月のひんがし

「禾生第二小学校」

「声の大きさ ゼロ」「いただきます。」今日も中央ホールで、給食マナー当番の指示により、和気あいあいの全校給食が始まる。



「ピーピー」「ブーブー」禾二っ子活動の時間には、楽器の音が高らかに響く。

昭和五十六年、現在地の太輪に新校舎を建設移転した本校は、落ち着いた教育環境の中で、山梨教育推進指定校としての実績を基に、山梨教育・都留教育の理念を掲げ、かじり国体に編成されたマーチングバンド活動を継続するなど、様々な取組みを展開している。

生涯教育の基礎を形成する義務教育の大切な時期に、伸びざかりの子どもたちは今、あらゆるものを吸収し、白銀の山なみに美しいシュプールを描くように成長の軌跡を刻み続けている。

禾二小における学びが、生涯における学びのふもととして、三百五十六の瞳の輝きの中にいつまでも生きつづけることを願い、人間教育実践の輪をますます大きく広げている。

禾生第二小学校長 武井重雄

城下田中町秋元越中守長朝

第二回 秋元越中守長朝

長朝が入城した元総社城（前橋市元総社町、蒼海城ともいう）は群馬県最古の城ともいわれ、廃城同様でしたから、新たに総社城（前橋市総社町植野）を築城することになりました。

長朝は城の構築に堀水が必要であり、この付近は榛名山の麓続きで田畑の用水の乏しい地帯ですから、城水と開田を兼ねた堰の開鑿のための大事業に取りかかりました。

これが有名な天狗岩用水（取入口越中杵）であります。秋元家の記録『秋錦録』によると、秋元家と井伊家は特別懇意の関係にあったので、高崎城主井伊直政に仲介を依頼して、白井城主本田豊後守広重の領内「瀬木」（渋川の南・吉岡村大久保付近）から利根川の水を取り入れることに成功しました。

慶長七年（一六〇二）工事を起し、利根川の右岸を南下して滝川村（高崎市）付近まで約二〇キロに及び、工事は同九年まで三年を費やして完成しました。これにより約二万七千余石を開田し、七十余の村落が恩恵を受けました。

また、総社城の堀水も満たし、慶長十五年城が完工しました。堰の開鑿にあたり、天狗岩と呼ばれる巨岩の処理について一人の

山伏（天狗）が現れ、工事を指揮して巨岩を取り除いたという伝説があります。

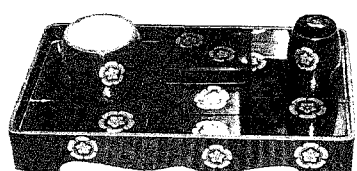
安永五年（一七七六）十一月、天狗岩堰の恩恵を受ける群馬郡の農民たちは「力田遺愛碑」を建てて感謝の意を表しました。

「越中杵」については明治三十三年四月、天狗岩用水組合総代が長朝の贈位について群馬県知事に請願した文書の中に、「越中杵ハ長朝ガ発明スル所デ、其ノ構造簡易ニシテ効用著シ、利根ノ本流増水アルトキハ自発的ニ廻転シテ水門口ヲ制シ水害ノ患ナカラシム」と。

長朝は寛永五年（一六二八）八月二十九日卒、八十三歳、法名江月院殿巨岳元管大居士と号し、総社光厳寺に葬られ、大正二年正四位を追贈されました。

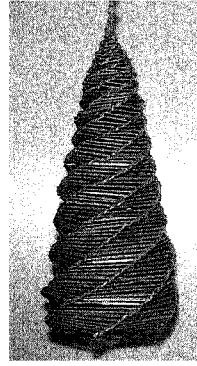
おわび 六月号の文中に間違いがありましたので訂正しおわびいたします。

豊富を臣 一万国を石 小系城主（栃木県）を千葉県



秋元家家紋入り煙草道具（前橋市総社町光厳寺蔵）

あなたも参加してみませんか
「虫かづくりと
旧鎌倉街道散策」



尾県郷土資料館では、次の日程で表ワラの虫かづくりの公開講座を開催いたします。

なお、講座終了後、引きつづき旧鎌倉街道散策を計画しておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日程 7月9日（日）
虫かづくり

午前9時～11時30分
散策

午前11時30分～午後2時
場所 尾県郷土資料館
講師 尾県郷土資料館協力会の皆さん

申込先 都留市文化財審議会委員
小林安典氏
○資料館（火木土日）
○教育委員会

※7月6日（金）までにお申し込みください。定員50名に達し次第締め切りとなります。

また、どちらか一方だけの参加も受け付けます。散策にはお弁当を持参してください。雨天の場合の散策は中止となります。